

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営の基本理念

金融サービス業のベストカンパニーを目指し、中立公正に徹し、個の価値と和の精神を重視する。

売上高前期比
15%売上高営業利益率
15%以上自己資本比率
60%以上売上高
836百万円

② 中長期の経営戦略

1. 情報サービス事業強化

IR支援・IRコンサルティング分野に経営資源を重点投下。スポンサー型アナリストレポートを中心に新規受注拡大、統合報告書配信など新サービス拡充を目指す。

3. 暗号資産事業の安定運営

収益基盤強化を最優先とする方針下で慎重なトレーディング方針を維持。再発防止策の徹底とガバナンス体制強化を継続。

2. 広告代理業の競争力強化

デジタル広告市場拡大に対応。動画配信プラットフォーム・SNSを横断的に活用したPR施策とAI技術を踏まえたマーケティング提案力向上に注力。

4. コスト構造改革と収益性強化

金融・経済データ取得の内製化と人的リソース最適化を推進。固定費最適化により収益体質を強化。当事業年度で約123百万円のコスト削減達成。

③ 対処すべき課題

① コンテンツ制作と品質管理

- ・アナリスト教育と専門スタッフのレベルアップに継続的に取り組む。
- ・外部アナリスト活用によるコンテンツ多様化と専門化を推進。
- ・統合レポート、ESGレポート等の拡大とワンストップIRソリューション体制を構築。

② 財務体質強化と継続企業

- ・4期連続の当期純損失から脱却を図る。当期は営業利益・経常利益計上に回復。
- ・現金及び預金192百万円保有で当面の運転資金を確保。
- ・安定的な黒字定着と持続的成長実現に向けた収益力強化を継続。

③ 内部管理・ガバナンス強化

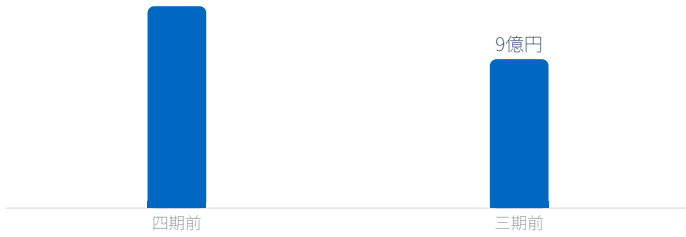
- ・過年度の暗号資産評価に関する訂正対応と再発防止策の定着に取り組む。
- ・社内規程整備・評価プロセス厳格化・モニタリング体制強化を実施。
- ・システム強化、バックアップ体制充実、コンプライアンス体制構築に重点投資。

面接で使えるポイント

- ・月平均10件程度の新規顧客を継続的に獲得するIR支援事業が成長基盤。
- ・金融・経済情報配信分野で中立公正な思考に徹する企業姿勢と、利益相反を排除した情報提供により…
- ・4期連続の当期純損失から営業利益・経常利益計上に回復。約123百万円のコスト削減と利益率の高い事業への資源集中により…

証券コード 3807

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

要するに
情報通信・サービス業を主な業務とする企業

主力事業・セグメント

- ・ 情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・ -（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高

－（未開示）

営業利益率

－（未開示）

財務健康度

31点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 33.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収

549万円

情報・通信業内 487位/592社

平均年齢

48.0歳

情報・通信業内 22位/593社

平均勤続

7.0年

情報・通信業内 257位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 株式会社フィスコより「フィスココイン（FSCC）のバリューア

